

大阪経済記者クラブ会員各位

デジタルツイン技術を活用したARコンテンツ表示実験を実施

～「コモングラウンド・リビングラボ」における
スマートシティ実現に向けた実証実験公募の実施支援～

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部(門、山本、西田)
TEL: 06-6944-6300

大阪府、大阪市、大阪商工会議所で構成する「実証事業推進チーム大阪」は、**明段舎株式会社が実施するデジタルツイン技術を活用したARコンテンツ表示実験を支援する。**

今回の実験は「『コモングラウンド・リビングラボ（以下、CGLL）』における、スマートシティ実現に向けた実証実験」として公募し、実施に至ったもの。

- 今回の実験では、CGLLの実験場をデジタルツイン化するために取得した3Dデータから、高低差や大きさ、奥行きなどの立体的な情報を読み込み、その形状に合うような3次元のARコンテンツ（株式会社アーティフィス<代表取締役＝長野 年起、大阪市都島区>が作成した立体画像、動画などのwebコンテンツ）をスマートフォンのアプリ上に誤作動なく表示させることができるかを検証する。
- 今回の実験の特徴として、3Dデータが持つ位置情報を利用してARコンテンツを表示することができるため、NFCタグや2次元バーコードのようなマーカの読み取りや、GPSのような位置情報の取得が不要となる。
- 今回の実験の結果を受けて、本技術を企業の展示会や工場、博物館へ導入することを想定しており、施設体験型の見学において新たなユーザー体験の提供が期待される。

【実証実験概要】

1. 実施期間
2023年5月12日（金）～5月15日（月）
2. 実施場所
CGLL 実験場（中西金属工業株式会社 本社内）
【大阪府大阪市北区天満橋 3-3-5】
3. 実施主体
明段舎株式会社（本社：大阪府大阪市北区天満）
代表取締役 ブラウン・ダニエルジョン氏
4. 実施内容
・ CGLLの実験場の3Dデータから立体的な空間情報を読み込み、スマートフォンのアプリ上で3次元のARコンテンツを表示させる。



(ARコンテンツの表示イメージ)

【問合せ先】

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当：門・山本・西田

電話：06-6944-6300、ファックス：06-6944-6249、E-mail：sangyo@osaka.cci.or.jp

以上